

作成日：2024 年 12 月 23 日

研究協力をお願い

昭和大学江東豊洲病院では、下記の臨床研究（学術研究）を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

この研究への参加を希望されない場合、また、研究に関するご質問は問い合わせ先へ電話等にてご連絡ください。

急性胆嚢炎に対する経乳頭的胆嚢ドレナージ法の違いによる臨床的效果の後方視的な比較検討

1．研究の対象および研究対象期間

2021 年 4 月 1 日から 2024 年 11 月 30 日の間に昭和大学江東豊洲病院で急性胆嚢炎に対して経乳頭的ドレナージを受けた患者さん

2．研究目的・方法

急性胆嚢炎治療は基本的に急性胆嚢炎・急性胆管炎診療ガイドライン（TG18）に準じて行っており、抗菌薬投与などの保存的治療、緊急/早期ドレナージあるいは早期手術を行います。ドレナージ法のひとつとして経乳頭的ドレナージが必要となることがあり経乳頭的ドレナージは主に外瘻術（体の外にドレナージすること）が好まれますが、外瘻術と内瘻術（体の中にドレナージすること）を比較した報告はこれまでにありません。内瘻術は術後の苦痛が少なく、手技回数を減らせるのが利点であり、内瘻術を工夫することによって、外瘻術と同等の成績が得られると期待できます。本研究の目的は期間中に急性胆嚢炎に対して経乳頭ドレナージを受けた患者さんの外瘻術と内瘻術それぞれの治療効果を比較検討することです。

3．研究期間

昭和大学における人を対象とする研究等に関する倫理委員会審査後、委員会から発行される「審査結果通知書の承認日」より、研究実施機関の長の研究実施許可を得てから 2025 年 12 月 31 日まで

4．研究に用いる試料・情報の種類

経乳頭的ドレナージを施行した患者さんの臨床録から、患者背景（性別、年齢、診断名、入院日、手技実施日、退院日、入院期間、転帰）、手技内容、手技時間、関連偶発症の有無を調査対象とします。

5．外部への試料・情報の提供

該当いたしません

6．研究組織

研究責任者	昭和大学江東豊洲病院消化器センター	牛尾 純
研究分担者	昭和大学江東豊洲病院消化器センター	角 一弥
	昭和大学江東豊洲病院消化器センター	川崎 佑輝
	昭和大学江東豊洲病院消化器センター	加藤 久貴

7．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出ください。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象者としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

所属：昭和大学江東豊洲病院消化器センター	氏名：牛尾 純
住所：東京都江東区豊洲 5-1-38	電話番号：03-6204-6000